

「地域とともにある学校」をめざして

下関市立川棚小学校

学校運営協議会について

主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針の説明、学校運営協議会年間計画について（4月）
- ・学校支援について（8月）
- ・餅つき大会、学校評価について（10月）
- ・本年度の取組の反省、来年度の計画について、次年度の学校経営方針の承認（2月）

特色ある活動

◆月に2回の読み聞かせの実施（低学年中心）

◆第1回熟議（夢が丘中学校区小中合同）の実施

実施日：令和元年8月8日（木） 14:50～16:30

テーマ：あいさつ運動の活性化のために

～4月からの振り返りと今後への展望～

参加者：およそ90名（夢が丘中学校生徒会執行部も参加）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・一言付け加え・地域の方とふれあい・小中合同で・いつでも・あいさつは家庭から・グッズや着ぐるみ・成果の視覚化・あいさつの質の向上・よい挨拶の紹介と共有 |
|---|

等の視点からについて、活発な意見交換が行われました。

◆第2回熟議（夢が丘中学校区小中合同）の実施

実施日：令和元年11月7日（木） 18:30～20:30

テーマ：あいさつ運動の活性化のために

～地域・家庭・学校ごとに取り組む実践～

参加者：およそ55名

◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

【餅つき大会】

地域・保護者・老人クラブ等の方々の協力で、餅つき大会を行いました。4年生以上の児童が餅をつき、3年生以下が餅を丸めました。伝統文化に触れながら、黄粉味と醤油味の餅をおいしくいただきました。

【伝統集会】

地域の高齢者の方々と一緒に、お手玉、おはじき、折り紙、かるた、あやとり、石けり、百人一首、将棋、こま、パッチン、竹とんぼを楽しみました。高齢者の方々に優しく教えていただき、子供たちは笑顔いっぱいでした。

◆ユニット型研修

校内授業研究会に学校運営協議会委員の方も参加を呼びかけ、授業や研修方法について意見や感想を述べていただいています。

来年度に向けて

地域の方が気軽に学校へ出入りできるような、行事内容の工夫・改善、学習支援の体制づくり等に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

「夢チャレンジャー ～ふるさとを愛し夢にチャレンジする子ども～」の育成をめざして

下関市立小串小学校

学校運営協議会について

1 本校の学校運営協議会（年4回実施）

15名の委員と本校教職員（事務と校務技士を除く）が出席して、3つのプロジェクトに分かれて、学校課題の解決に向けて具体的な取組を熟議している。

- ・ 第1回 令和元年 5月31日（金）18:00 学校経営方針 本校の現状と課題
- ・ 第2回 令和元年 8月28日（水）18:00 学校評価結果・学力調査結果から
- ・ 第3回 令和元年11月29日（金）18:00 いじめ防止対策委員会
- ・ 第4回 令和2年 2月25日（火）18:00 コミスクの意義 本年度の振り返り

2 学校運営協議会のしくみを生かした地域協育ネット協議会（年2回実施）

夢が丘中学校区（1中・3小）の地域各団体代表、学校運営協議会委員、各学校教職員が出席して、「夢チャレンジャー ～ふるさとを愛し夢にチャレンジする子ども～」の育成をめざして、あいさつ運動の活性化に向けて具体的な取組を熟議している。

特色ある活動

◆熟議の実施

実施日：令和元年8月8日（木）14:50～16:30

テーマ：「あいさつ運動を活性化するために」
～地域・家庭・学校でできること～

参加者：73名＋夢が丘中学校生徒20名

[参加者の意見]

- ・ 「あいさつ」はいつもしなければならないことだが、マンネリ化する。メリハリの付け方を考えなければならない。
- ・ 小中合同であいさつ運動ができないだろうか。例えば、中学生が出身小学校区で小学生にあいさつをする等が考えられる。
- ・ 家庭で親子のあいさつを心がける。あいさつ運動期間だけでなく、日頃から心がけることが大切である。

◆あいさつチャレンジ週間の取組

本年度から、毎月第3週を「あいさつチャレンジ週間」と定め、夢が丘中学校の小中4校でそれぞれのあいさつ運動を展開している。また、本年度は、保護者向けのちらしを作成し、啓発をしている。

来年度に向けて

あいさつ運動を活性化するために、11月7日に2回目の話し合いを実施した。この日は、学校、地域、家庭の3つのグループに分かれて熟議し、来年度に向けて学校は「あいさつの歌」を作ること、地域は保育園にも呼びかけをすること、家庭はあいさつの意義を子どもに伝えることによって、あいさつ運動を周知徹底することを共通理解した。



↑ 中学生による「あいさつ運動」の実践発表



↑ 中学生を交えた熟議



↑ あいさつ運動の様子（ちらしの一部）

「子どもの笑顔があふれ、地域とともにある学校」を目指して

下関市立宇賀小学校

学校運営協議会について

①主な協議内容

- 第1回学校運営協議会（4月）
 - ・学校運営方針、重点目標の説明と協議
 - ・本年度の協議会の組織づくりと活動方針の決定について
- 第2回学校運営協議会・第1回専門委員会（6月）
 - ・第1回学校評価アンケート実施と項目について検討 ・専門部の活動趣旨説明
 - ・各専門部別（学力向上部会・豊かな心育成部会・体力向上安全部会）の活動方針と活動計画の立案
- 第3回学校運営協議会・体力向上安全部会（8月）
 - ・1学期の学校運営状況説明
 - ・第1回学校評価アンケートの結果分析及び課題解決のための熟議
- 第4回学校運営協議会（2月）
 - ・第2回学校評価アンケート集計結果と分析
 - ・令和2年度の学校運営方針の説明及びコミュニティ・スクールの活動の反省等

特色ある活動

◆地域とともに二分の一成人式

本校の二分の一成人式では、保護者だけでなく、学校運営協議会の皆さんや地域の皆さんをお招きして行われます。

式に臨む児童たちは、厳粛な中にも地域の皆さんの温かい励ましをいただき、夢や目標に向けての決意を新たにしました。参加いただいた皆さんからは、児童たちの懸命な姿や思いを感じ、「本当に感動した」「10年後が楽しみな式でした」との感想をいただき、日々成長している姿を実感していただく、とてもよい機会でした。



◆生活科で「むかし遊び」のゲストティチャー

低学年の生活科では地域の皆さんにゲストティチャーになっていただき、凧あげやお手玉、竹とんぼなどの遊び方を教えていただきました。シンプルな遊びだけれど、コツや要領があり、工夫次第でみるみる上達がみられました。

例えば、凧あげでは角度や向き、糸の張り方で上がり方が全く変わります。コンピュータのない時代に、プログラミング的な思考をしていたことが分かり、昔遊びの良さを児童とともに学びました。



来年度に向けて

◆地域がとても協力的で、児童や学校のために協力する体制ができています。ひとえに地域コーディネーターさんのご尽力のおかげです。また、地域の皆さんも、「児童の姿に元気をもらった」という声もあり、地域の元気創造の一助となっています。学校は豊かな教育の推進が図れ、コミュニティ・スクールのよさを享受しています。今後もこの関係性を保って、よりよい学校づくりをめざしたいと思います。

「夢チャレンジャー」の育成をめざして

～ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子ども～

下関市立夢が丘中学校

学校運営協議会について

本校の学校運営協議会は、15名の委員（地域の方・保護者）で構成しており、学校教育基本方針や学校評価結果の分析とその後の取組などについて協議をしていただくとともに、委員及び教職員（全教職員が年2回以上、ローテーションで参加）が「学習支援部」「健全な心の育成部」「交流・体験支援部」の3つの部会に別れ、事業推進について熟議し、実践につなげています。協議会は年間5回開催し、そのうちの2回は「夢チャレネット」（夢が丘中学校区地域協育ネット協議会）の研修会を兼ねて行っています。協議した内容や決定事項については、学校だよりやホームページで、地域や保護者のみなさんにお知らせしています。



特色ある活動

本中学校区では、昨年度の11月にめざす子供像を「夢チャレンジャー～ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子ども～」と決定し、今年度の4月から毎月第3週を「あいさつチャレンジ週間」として、地域ぐるみであいさつ運動に取り組んでいます。

8月に行った研修会では、4月からの「あいさつチャレンジ週間」の取組を夢



が丘中学校生徒会が発表した後、「あいさつ運動の振り返りと今後の展望」というテーマで熟議を行いました。そして、11月の研修会では、「あいさつ運動の活性化のために」というテーマで地域・家庭・学校別に熟議を行い、あいさつ運動の活性化に向けた地域・家庭・学校それぞれの取組を決定し、共通理解を図りました。

来年度に向けて

来年度は、地域・家庭・学校の連携を一層深め、今年度からはじめた『あいさつ運動』のさらなる活性化をめざすとともに、本中学校区のめざす子供像である「夢チャレンジャー～ふるさとを愛し、夢にチャレンジする子ども～」の具現化に向けた新たな取組についても検討していきたいと考えています。

